

吉野林業は、500年前から地域の経済と雇用を支え、脈々と受け継がれてきました。この歴史や木の文化を、吉野の未来を担う次の世代へ引き継いでいきたいとの思いを込め、吉野町は、町制60周年の平成28年に『木のまち吉野』未来宣言を行いました。このページでは、森の恵みから生まれた暮らしや営み、木との触れ合いなど、吉野の木に関する「今」をお伝えしていきます。

吉野材でマイ箸を作りました

箸のよさ、木の大切さを再発見！

東京都美術館で開催中の「おべんとう展」にて、8月12日、奈良の木ブランド課、奈良県木材協同組合連合会と連携し、県産材PRを目的とした箸づくり教室を開催しました。



小さなカンナで面取りしている様子

箸を自分で作りたい、家族で夏休みの思い出にしたい。様々な動機で参加した65名、箸を通して吉野材に触れ、みな香りと手触りの良さを実感していました。また、吉野材はどのように育てられているのか、箸は丸太のどの部分から作るのか、吉野の木についての話にも、熱心に耳を傾けていました。

箸と向き合う時間が、食べることや木のことを改めて考えるきっかけとなったようです。



マイ箸完成したよ

外国人留学生もカンナに挑戦！

8月26日、上市スタンドにて吉野杉を使ったマイ箸作りのワークショップを開催し、近畿大学、大阪産業大学、関西外国語大学、奈良先端大学の留学生らを含む26名に参加いただきました。

普段から木材に触れることが少ない学生がほとんどで、序盤は木目を読み取るのに何度も質問をしたり、カンナをうまく使えなかったりと時間がかかります。ところが中盤になると少しずつ木を削る感覚をつかめるようになり、最後には「削るのが楽しい」という声も聞かれました。参加した学生たちは出来上がった自分の箸を手に、「ラーメンを食べてみたい」「この日自分達で作った柿の葉寿司を食べよう」など愛着深そうに使う場面をイメージしていました。



地域おこし協力隊が留学生にカンナがけを指導する様子

木の持つ力を伝えます

江戸時代に吉野材で作る酒樽の端材を有効利用するため考案された、吉野の箸作り。それには吉野材ならではの特徴が不可欠でした。吉野材は丁寧に長い時間をかけて育てられるため、木目が真っすぐで年輪が細くなります。だからこそ箸として使っても丈夫で、かつ、しなやかさを兼ねそなえているのです。さらに近年奈良県が行った実験によって、吉野杉や吉野松はカビや細菌の増殖を抑え、ダニを遠ざける効果が高いことも分かってきています。

食事や住まいは人々の健康を守る大切なものです。今後も五感を使った体験を通して、人々の生活に安心を与えてくれる吉野材の良さを感じて頂けるようにPR活動を続けていきます。

お家について考えよう!

VOL.7

吉野町上市移住定住促進支援センターでは、空き家をお持ちの方や空き家になる可能性のある所有者の方から様々な相談を受けます。

相談例

Q.雨漏りがひどく家を管理しきれないので解体した方がいいですか?



A. 大規模な修繕が必要な状態であったり、活用方法がなく、倒壊の危険性などもあるのなら、解体する事も適正な管理としてあげられます。解体について考えていきましょう。

解体について詳しく、空き家博士に聞いてみましょう!



クボちゃん



空き家博士

①解体について

クボ 解体となると大ごとですが、メリットはありますか?

博士 経年劣化などで、倒壊の恐れのあるお家は近隣の方や通行人の方に瓦や外壁が落下し危害を加えて管理責任を問われたりする。また買い手や借り手が見つからず、そのまま放置し続けることになるなら、解体も適正な管理となり、家屋や庭木の手入れや、修繕の必要もなくなり管理する負担が減るのじゃ。

クボ やっぱ古いお家は解体する方がよいですね?

博士 そつじやないのじゃ。解体するとデメリットもある。解体すると土地の固定資産税等が上がってしまうケースもあるのじゃ。家を解体した後の事を考えておかないと維持費がますます掛かることもあるのじゃ。

クボ 解体するのも慎重にしない

といけませんね。

博士 そつじやの。解体すること一つの方法だが、外観が古くとも、修繕をすればまだ住める家も数多くあるのじゃ。また買い手等には自分で修繕する方もいることもある。まずは解体の見積、必要改修にかかる費用の見積など、専門家の診断を受けてみるのもよいかもしれんの。解体だけではなく他の方法が見つかるかもしれないので、まずは吉野町上市移住定住促進センターに相談して、お家の現地調査をし、今後どうするか一緒に考えていくのがよいかもしれんなあ。

②お家の管理

クボ お家が管理されていたら、人に貸したり、売ることも可能ですよな。

博士 そつじやのう。お家も生きているものとして考えて、定期的な点検やお直しが必要じゃのう。改修が必要な箇所も初期の段階

であれば、費用の負担も少なく済む場合がある。またお家を定期的にしちんと管理しておけば、納得のいく金額で売買出来たり、すぐに借り手、買い手が見つかることも多いのじゃ。

クボ 自分で管理するのは大変だけれども、ゆくゆくの事を考えれば、多少費用をかけてでも管理していく必要はありますな。

博士 家を管理するのは大変じゃ。庭があれば草木が伸び、家の中も外観も、自然災害や経年劣化で傷んでくる。田畑があればもっと管理が必要じゃ。自分自身で管理できなければ、近隣の方に使用してもらったり、借り手を見つけたり、業者に依頼したりすることも一つの手じゃのう。またお家をこれから取得する人にも自分の管理できる範囲を長い目でみて考えてほしいのう。

吉野町上市移住定住促進支援センター 吉野町上市182 TEL (39) 9030 (定休日:水・日)

上市スタンド出店情報

吉野町では空き家や空き店舗を活用し、地域の賑わいをつくる目的で上市にある空き店舗を活用したチャレンジショップ『上市スタンド』の運営をNPO 法人空き家コンシェルジュに委託しています。『上市スタンド』は上市郵便局前の旧わたなべ呉服店です。

第1回 起業セミナー

10/8(月・祝) 13:00-16:00

吉野山のゲストハウスで奮闘する女将



講師

片山 文恵 (かたやまふみえ)

プロフィール ・MOT卒 ・ゲストハウスKAM INN運営

参加費 無料

事前申込制 20名

吉野町に移住し、なりわいをしている私のお話会

テーマ

吉野町での起業準備と行動

【内容】 起業までの準備と行動。始めてからのギャップなど

13:00-15:00 起業セミナー

15:10-15:40 吉野町で起業する為の方法などの意見交換

15:40-16:00 上市スタンドの改善点などの意見交換

申込み・お問い合わせ先 NPO法人空き家コンシェルジュ 吉野事務所 電話 (39) 9030 (9:00~17:00 定休日:水・日)